

別紙様式第十五号

研究の名称

穿刺時における VA エコー活用の評価～再穿刺回数軽減に向けて～

1. 研究の対象

透析時の穿刺の成功回数・失敗回数を調査するため、通常穿刺を行っている当院の透析患者様全員を対象としています。透析を実施するたびに穿刺を行わない長期留置カテーテル、W ルーメンカテーテルを挿入している患者様は対象に含まれません。

2. 研究目的・期間・方法

研究目的

2017年9月頃より、透析の穿刺時における業務の一環として超音波で血管画像を映し出す装置の「エコー」を導入しました。エコーを使用して間もない頃、血管が細いなどの理由で穿刺が困難な患者様に対して、エコー下にて穿刺針を血管内へ刺入することで穿刺の失敗を防ぐことが出来ました。よって、これまで再穿刺になっていたであろう事例も、エコーを使用することで、再穿刺ストレスの軽減や再穿刺回数の減少に期待できると実感しました。そこで2017年9月～2018年9月までの期間で、エコーに関連した透析業務(エコーガイド下針先修正、エコー下穿刺)の実績を洗い出し、エコーの使用が再穿刺回数の減少に効果があったのかを検討したいと思います。

※

- エコーガイド下針先修正＝穿刺時に血管を模索してしまい刺入困難となった際に、エコーにて穿刺針を血管内へ確実に刺入する方法
- エコー下穿刺＝シャントが細い場合や通常穿刺が困難な場合にエコー画像を見ながら穿刺針を刺入していく方法
- 再穿刺＝穿刺した際に血管腫脹などで抜針し再度穿刺すること

研究期間・方法

2017年9月～2018年9月までの期間で GE Healthcare 社製 Venue50 というエコー装置を用いたエコーガイド下針先修正、エコー下穿刺の取組みについて評価します。評価項目としては、通常穿刺での総穿刺回数、再穿刺回数および再穿刺率、エコーガイド下針先修正回数および成功率、エコー下穿刺回数および成功率をそれぞれ集計します。(どれだけ成功して、どれだけ失敗したのかを%で集計します)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

エコーに関連した透析業務の実績(通常穿刺での総穿刺回数、再穿刺回数および再穿刺率、エコーガイド下針先修正回数および成功率、エコー下穿刺回数および成功率)のデータ(数値のみ)を用いますが、個人を特定出来るものは一切含みませんのでご安心ください。

また、研究目的で対象となる透析患者様から新たに試料、情報を取得することは一切ございません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
本研究に使用する情報から患者様や職員を特定することは不可能であるため、患者様もしくは患者様の代理人の方、または職員に本研究の実施をご了承いただけない場合でも、本研究で使用する情報の中から、特定の患者様、または職員の情報だけを抜き取ることは不可能であることをご了承下さい。
本研究に対して疑義やご質問等がある場合は出来る限り対応させて頂くため下記の連絡先までお申出ください。

連絡先：

医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院
透析センター 臨床工学技士 村岡 大輔
〒512-1111
三重県四日市市山田町 5538-1
電話 059-328-1260
ファックス 059-328-1011
メール touseki-oya@syutaikai.jp

研究責任者：

小山田記念温泉病院 透析センター 村岡 大輔